



MRX連動型音声マトリクススイッチャ

MAU Series

MAU-606/1111/1616/3216/3232

取扱説明書 Ver.2.4.0

この度は、MRX連動型音声マトリクススイッチャ「MAU シリーズ」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。「MAU シリーズ」は低価格ながら高い品質を持っています。本製品の性能を十分に引き出してご利用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

この取扱説明書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)を良く理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

「警告」、「注意」、「記号」の意味

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。	 感電注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。	 プラグを抜く

警告

 指 示	<p>・据付工事について 技術・技能を有する専門業者が据付けを行うことを前提に販売されているものです。据付け・取付けは必ず工事専門業者または当社営業部に問い合わせ下さい。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p>	 指 示	<p>・電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常や故障のときや長時間使用しないときに役に立ちます。</p>
 指 示	<p>・電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱によって火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p>	 プラグを抜く	<p>・煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認し、当社営業部に問い合わせ下さい。</p>
 プラグを抜く	<p>・落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。点検・修理については当社営業部に問い合わせ下さい。</p>	 プラグを抜く	<p>・内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。点検・修理については当社営業部に問い合わせ下さい。</p>
 禁 止	<p>・不安定な場所に置かない 水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。</p>	 禁 止	<p>・振動のある場所に置かない 振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。</p>
 分解禁止	<p>・修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。内部の点検・調整及び修理は当社営業部に問い合わせ下さい。</p>	 禁 止	<p>・電源コード・電源プラグは 傷つけたり、延長するなど加工したり、過熱したりしない 引っぱり張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・電源プラグが傷んだら当社営業部に問い合わせ下さい。</p>
 禁 止	<p>・異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p>		
 接触禁止	<p>・雷が鳴り出したら電源コードや LAN ケーブル、本体などには触れない 感電の原因になります。</p>	 指 示	<p>・電源プラグのほこりなどは定期的にとる 電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因になります。</p>

機器の接続について

 指 示	<p>本機器と周辺機器との接地電位差により感電、もしくは機器の破損が発生する場合があります。機器間をケーブルで接続する際は、長距離伝送接続なども含めて、関係する全ての機器の電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 各機器の信号・制御ケーブルを接続し、終了した後に各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。</p>
---	--

注意

 <p>・温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>・湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない 加湿器のそばやほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>・通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>・本体付属の AC アダプタまたは、電源コード以外のものは使用しない 不適合により、火災や感電の原因になります。本体付属の AC アダプタまたは、電源コードは 100V 系国内専用です。海外など 200V 系でご使用になる場合は、当社営業部に問い合わせ下さい。</p> <p>禁止</p>
 <p>・機器の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。</p> <p>ぬれ手禁止</p>
 <p>・コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>・使用温度/湿度範囲、保存温度/湿度範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災や感電の原因になります。</p> <p>指示</p>
 <p>・長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。</p> <p>プラグを抜く</p>	 <p>・お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因になります。</p> <p>プラグを抜く</p>
 <p>・他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切る 火災や感電の原因になります。</p> <p>指示</p>	

設置についてお願い

・ラックマウント製品の場合

 <p>指示</p>	<p>EIA 相当のラックにマウントしてください。その際には上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。また、安全性を高めるため前面のマウント金具と併用して L 型のサポートアングルなどを取り付けて、機器全体の質量を平均的に支えるようにしてください。</p>
---	---

・ゴム足付きの製品の場合

 <p>指示</p>	<p>ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は付属のゴム足、付属のネジ以外は使用しないでください。</p>
---	--

・海拔について

 <p>指示</p>	<p>海拔 2,000m 以上の場所に設置しないでください。 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。</p>
---	--

————— 目次 —————

1. 概要.....	7
2. フロントパネルの説明.....	7
3. リアパネルの説明.....	8
4. 接続方法.....	9
5. 操作方法.....	9
6. 製品仕様.....	10
7. 故障かな?と思う前に.....	11
8. ヒューズについて.....	12

1. 概要

MAU シリーズは RGB マトリクススイッチャ MRX シリーズ に連動させて使用するアンバランス音声信号に対応した 音声マトリクススイッチャです。

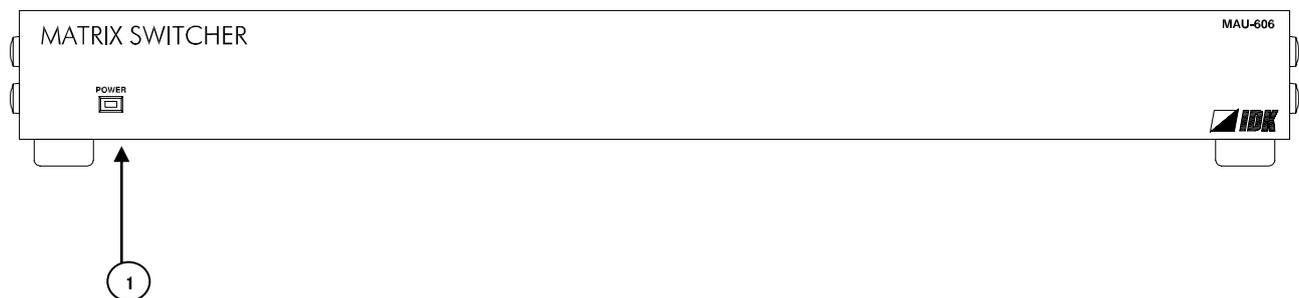
本機への制御はバスを経由して、映像用スイッチャより おこないます。

映像用スイッチャのフロントパネルスイッチ、RS-232C、RS-422、パラレル入出力、LAN の制御で入出力の 組み合わせを自由に変更することが出来ます。

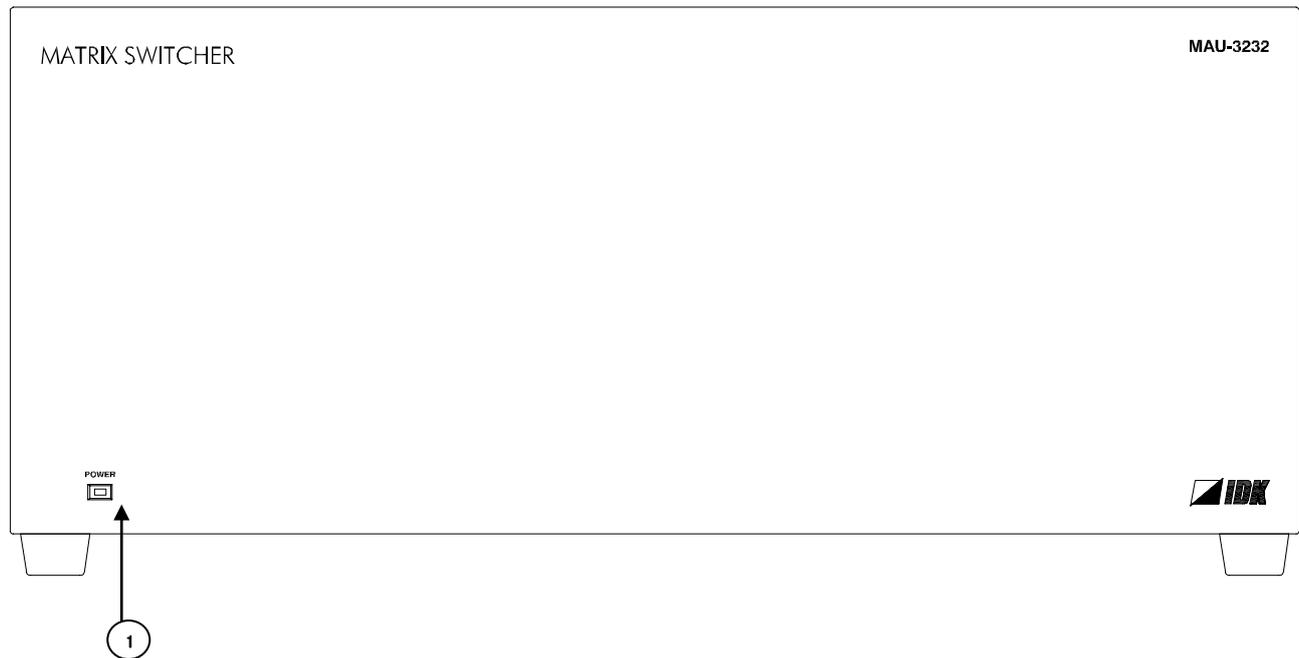
注意 映像ユニットと音声ユニットの独立したチャンネル 指定はできません。

2. フロントパネルの説明

MAU-606/MAU-1111



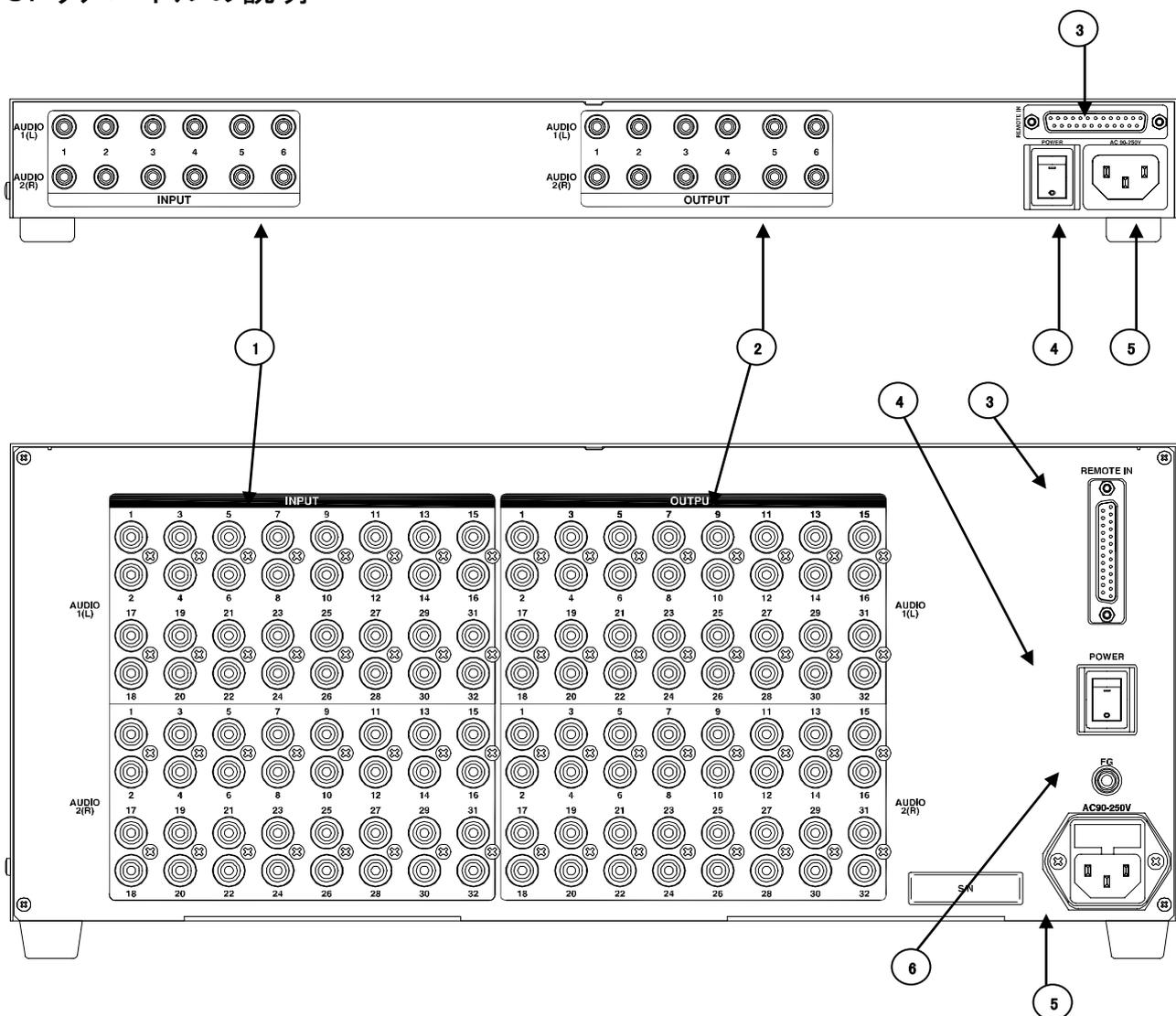
MAU-1616/MAU-3216/MAU-3232



① 電源 LED (POWER)

本機と RGB マトリクススイッチャ (MRX シリーズ) を付属の連動ケーブルにて接続し、電源コードを AC90～250V に繋がります。MAU シリーズの電源スイッチを“ON”にした状態で、MRX シリーズの電源スイッチを”ON”にすると、この LED が点灯して電源が入ります。

3. リアパネルの説明



- ① 音声信号入力コネクタ (INPUT AUDIO 1、2)
- ② 音声信号出力コネクタ (OUTPUT AUDIO 1、2)
- ③ 連動用 BUS コネクタ (REMOTE IN)
- ④ 電源スイッチ (POWER)
- ⑤ 電源 (AC90-250V)
- ⑥ フレームグラウンド (FG)

4. 接続方法

本機と RGB マトリクススイッチャ(MRX シリーズ)との接続には、付属の連動ケーブル(D-sub25ピンストレートケーブル)を使用します。MRX シリーズ側の「REMOTE (OPTION)」と MAU シリーズの「REMOTE IN」をこのケーブルで接続します。



注意)

電源投入時に初期インシャライズが必要なため、MAU シリーズの電源スイッチを先に“ON”にしてから MRX シリーズの電源スイッチを“ON”にしてご使用してください

5. 操作方法

本機は RGB マトリクススイッチャ(MRX シリーズ)と連動して動作致します、RGB マトリクススイッチャ(MRX シリーズ)の取扱説明書を参照してください。

6. 製品仕様

外観と仕様は予告なく変更することがあります

	MAU-606	MAU-1111	MAU-1616	MAU-3216	MAU-3232
・入力数	6 系統	11 系統	16 系統	32 系統	32 系統
・出力数	6 系統	11 系統	16 系統	16 系統	32 系統
・音声周波数特性	20Hz～20KHz±1dB				
・音声 S/N 比	85dB 以上				
・音声クロストーク	85dB 以上				
・音声最大入力レベル	+12dBu				
・音声歪率	0.008% 以下				
・入出力信号	アンバランス音声信号 L/R 出力インピーダンス/75Ω 入力インピーダンス/24kΩ				
・入出力コネクタ	RCA ピンジャック				
・制御方式	映像ユニットに連動				
その他仕様					
・電源電圧	AC90～250V 50Hz/60Hz±3Hz				
・消費電力	約 12W	約 14W	約 16W	約 21W	約 30W
・外形寸法	430(W)×44(H)×250(D)mm (EIA ラック 1U、突起物含まず)		430(W)×88(H) ×250(D)mm (EIA ラック 2U、突起物含まず)	430(W)×177(H)×250(D)mm (EIA ラック 4U、突起物含まず)	
・質量	3.9kg	4kg	4.8kg	6.7kg	7kg
・使用温度範囲	0～+40℃				
・使用湿度範囲	20～90% (ただし結露なきこと)				
・保存温度範囲	-20～+80℃				
・保存湿度範囲	20～90% (ただし結露なきこと)				
・付属品	専用バスケーブル(1.8m)、電源コード(1.8m)、ラック取付金具				

※付属の電源コードは本機専用品です。他の機器にはご使用にならないでください。

7. 故障かな？と思う前に

本機がうまく動作しない時などは、以下の点をご確認の上(株)アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部までご連絡ください。

- ・本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・表示装置(モニタなど)は正しく設定されていますか？
- ・機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

故障の連絡をする際には以下の点を事前にテストしてください。

1. 全てのチャンネルで同じ現象がでますか？
-はい- -いいえ-
2. 本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？
-はい- -いいえ-

株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部

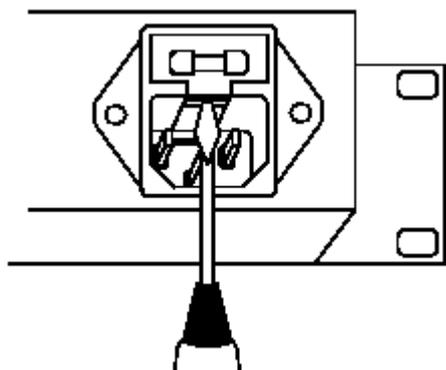
TEL (046)200-0764 FAX (046)200-0765

月曜～金曜 AM9:00 ～ PM5:00

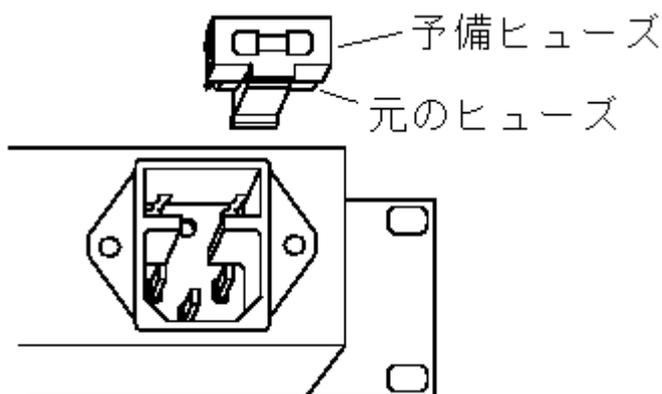
8. ヒューズについて

MAU-1616 MAU-3232 には「5×20mmガラス管ヒューズ」が搭載されています。何らかの原因により、機器の回路ショートや回路部品の故障が発生したときはヒューズが切れて本機に過大電流が流れることを防ぎます。本機の電源が入らない時、ACインレット内のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は次の方法でヒューズを交換してください。

1. 本体の電源スイッチをOFFにして、コンセントからACケーブルを外す
2. ACインレットからACケーブルを取り外します。
3. ACインレットのACケーブル接続部分にある凹部をドライバーの先端等で引き出してヒューズホルダ部分を取り出します。



4. 予備のヒューズと交換します。



5. ヒューズホルダ部分を元通りにセットします。

*交換してもヒューズが切れる場合は、故障の可能性がありますので、弊社までご連絡ください。



株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部
TEL (046)200-0764 FAX (046)200-0765
月曜～金曜 AM9:00 ～ PM5:00

発行日 2013年12月16日 Ver.2.4.0
* 本書は改善の為、事前の予告無く変更することがあります。
* 本書の無断転載を禁じます。